

副専攻プログラム説明書

開設学部（学科）名〔生物生産学部（生物生産学科）〕

プログラムの名称	(和文) 応用動植物科学副専攻プログラム
	(英文) Applied Animal and Plant Science Program
1. 概要	応用動植物科学主専攻プログラムは、5つのキーワード（動物生産、植物生産、生産環境、生物資源、生物機能）のもとに構成された教員によって実施され、陸域における動物と植物の生産と利用に関する基礎的な知識と技術を体系的に身につけ、動植物の生理機能とその生産環境を理解し、動植物の新たな有用機能の開発、健全で近代的な動植物生産の理論と技術、自然と人と動植物との関わり、動植物資源の利用等を学ぶ。
2. 到達目標	動植物資源の生産・利用に関して、分子・細胞・個体レベルでの生命現象ならびに生態系や生産環境に至るまで体系的に理解できる。
3. 登録時期	プログラムの履修開始時期は3セメスターからです。また、プログラムの登録は、履修開始前（事前登録）とします。
4. 登録要件	本プログラムは、本学のすべての学生に開かれています。本プログラム選択のための既修得要件はありません。
5. 受入上限数	10名
6. 授業科目	※授業科目は、別紙の履修表を参照すること。 ※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。
7. 修了要件	指定する16単位を修得すること。
8. 責任体制	応用動植物科学副専攻プログラム担当教員会
9. 既修得単位等の認定単位数等	(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等 8単位 (2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等 8単位

【副専攻プログラム履修に関する注意事項】

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○副専攻プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

応用動植物科学副専攻プログラム履修表

区分	授業科目	単位数	履修期	要修得単位数
教養教育科目	SDGs に向けた生物生産学入門	2	3	2
専門基礎科目	分子生化学入門	2	4	このうちから 4 単位以上
	食料資源論	2	4	
	生理学入門	2	3	
専門科目	植物栄養生理学	2	6	このうちから 10 単位以上
	植物生産土壌学	2	6	
	動物遺伝育種学	2	6	
	動物栄養学	2	6	
	動物生体機構学	2	6	
	生殖生物学	2	7	
	動物生産管理学	2	7	
	植物バイオサイエンス	2	7	
	動物福祉論	2	7	
合 計				16